

西郷 広報

9月 1日

平成17年(2005)

No.417

—毎月1日・発行—

■災害への備えあなたは、万全ですか?……2~3

■おいしい野菜を食卓に……4

Main Contents



森林のなかと

「甲子高原きびたきの森トレーニングコース」を走る選手たち(8月9日)

あなたは、万全ですか？ 災害への備え



もし、震度七規模の大地震が発生したら…。自分や家族の命を守ることが出来ますか？阪神・淡路大震災、新潟中越地震そして八月十六日に発生した宮城地震のような大地震は他人事ではありません。環太平洋火山帯に位置する日本では、全国のいたるところに、大きな直下型地震の引き金となる活断層が分布しているのです。大きな地震に見舞われていないときほど、油断しないで気を引き締める事が大切です。改めて、災害に対する家の備え、地震の備えを見直しましょう。

もしも

村で災害が起きたら

全国各地で発生している災害は、私たちの村でもいつ起きるかわかりません。村では、災害発生の際には、災害発生したときには、「災害対策本部」が設置されます。実際に私たちが危険な状況になったとき、どのようにすれば良いのでしょうか。災害対策本部が設置されてから、住民の皆さんが避難するまでの流れを簡単に説明します。

- ・災害が発生し、規模・範囲から特に対策が必要なとき。
- ・村や周辺市町村で震度五（強・弱）以上の地震を観測し、村内に大規模災害が発生したとき、又は、発生する恐れがあるとき。
- ・村又はその周辺で震度六弱以上の地震を観測したときは自動的に設置。
- ・村内で地震による大規模な災害が発生したとき、又は発生する恐れがあるとき。

被害の分析などが行われた後に現地調査に入り、より詳しい災害の状況や応急対策等に必要となる資材の量などの情報が集められます。

集められた情報を基に資材の確保や災害の拡大を防ぐために災害現場近くの住民に避難勧告をするかどうか検討され、避難勧告をするために道路の確保や避難誘導の準備が行われ、避難勧告が出された地域の方々を避難場所まで誘導することになります。

気象情報に注意

地震だけでなく大雨が降っているときや台風が近づいているときなどは、テレビ・ラジオなどの気象注意報・警報に十分注意してください。洪水や土砂崩れなどの災害予想の情報が提供されます。

さらに、家屋などに危険が迫ったとき、避難勧告や指示が出されたりしますので、災害が発生した場合は、まず気象情報をチェックし地域の状況を正確に把握することが大切です。

避難場所や避難方法を話し合っておく

それぞれの地域には指定された避難場所があります。実際に家から歩いてみて場所や所要時間などを確認しておきましょう。

高齢者や子ども、病人、体の不自由な人がいる場合は、地域の人たちが手伝って避難活動を行えるよう、日ごと

「防災」に備えよう

ろから協力体制を築いておくことも必要です。避難場所については防災ハンドブックに掲載してありますので家族で話合って、災害が発生したとき、だれが何をするか、どこに避難するかなどについて決めておきましょう。

大きな災害が発生し、避難を余儀なくされた時には、数日間、自分たちの力で避難生活を過ごせるだけの備えが必要です。

日ごろから、三日分ほどの非常用食糧や水をまとめておき、避難するときにはすぐに持ち出せるようにしておくことが大切です。

また、家の中を点検し、地震で物が落ちたり家具が倒れたりしないか、階段や出入り口が物でふさがっていないか確認しましょう。

非常持ち出し品の例

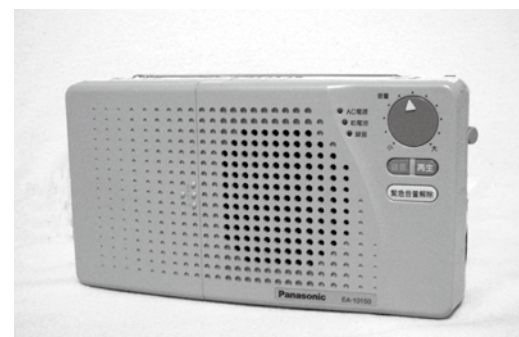
食料・飲料水（3日分）	衣類・下着
懐中電灯（予備電池付き）	毛布、運動靴
小型ラジオ（予備電池付き）	マッチ、ライター
貴重品類（通帳・印鑑・現金等）	ローソク、缶きり
応急救護医薬品	ナイフ、ロープ

※家族に病人や赤ちゃんがいる場合は、薬やおむつ、ミルクなど必要な物を備えてください

防災行政無線の点検を

村では、災害時の被害を最小限に食い止めるため。村民の皆さんに警報や避難勧告等の伝達、災害現場からの情報収集や指示伝達を行うために防災行政無線設備を設置しています。

また、平常時には、行政サービス向上の推進を図るべく村広報活動の情報伝達等を



行うため、全世帯に防災行政無線（個別受信機）の設置をお願いしています。この個別受信機は、村防災行政無線を屋内で受信するもので、親局となる送信所（村）からの放送を家庭にて受信して聞くことができます。他に災害時などの停電状態でも内蔵されている乾電池（単二型四本）に切り替わり受信することができます。乾電池が消耗した場合は、赤ランプが点灯しますのでお早めに乾電池を交換してください。

まだ設置されていない方は、企画調整課まで申し込んで下さい。

もしものときの「災害用伝言ダイヤル」

災害発生時には、災害地の電話回線が不通となり電話が使用できなくなることがあります。被災地域内の家族や親族、友人などの安否を確認したいときに使用できる「声の伝言板」です。被災地の方が録音した情報を聞くことができます。被災地の方へメッセージを送ることができます。

利用方法は簡単で「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

なお、実際に災害が発生し、運用する際にはテレビ・ラジオ等でお知らせします。詳しくは、116または、お近くのNTTまでお問い合わせください。

自分の笑顔がみんなを笑顔にさせる ボランティアで福祉活動を体験



ボランティア活動には、地域、福祉、環境、学習ボランティアなど様々な形態があります。村内一斉清掃などの大規模なものや小さな親切など、私たちが知らないところでも多くの活動がされています。

今回は、サマーショートボランティア参加者の活動について、ご紹介します。



中学生から一般の方までを対象としたサマーショートボランティアスクールが八月八日から十二日の五日間行われました。夏休み中の中学生や大学生また一般の方、二十一名が「デイサービスセンターふれあいの家」などでボランティア活動を体験しました。

村社会福祉協議会が主催となり、夏休みを利用して、中学や高校に在学中の生徒にちよつとしたボランティアを体験する場を提供する事で地域社会の福祉課題や福祉の現状を理解してもらいボランティア活動への積極的な参加の促進と振興を図ることを目的として毎年開催しています。

まず基礎講義では、今、社会でボランティアに期待されていることや基本的性格や定義について、講師の先生から話を聞きました。午後からは、「デイサービスセンターふれあいの家」で実際に老年寄りのふれあい、気軽に話すことや介助の方法を学びました。

ボランティアを始める一つのきっかけに

最終日には、自分たちが日常使う販売機やトイレなどが、障害を持った方にはいかにも不便で使いづらいかを体験するプロテクターや重りをつけた疑似体験が行われ、視野が狭くなるゴーグルをかけて歩いてみたりトイレを使ってみるなど日常生活の不便さを感じ、ボランティアの重要性や気配りの大切さを実感していました。



▲高原野菜の白玉膳



▲そばサラダ



▲西郷食べてがんばり七菜



▲審査員も苦労しながら審査しました

村では、文部科学省の「平成十七年度学校を中心とした食育推進事業」の指定を受けた食育推進事業の指定を受けた食育推進事業として、米粉パンを学校給食に県内で初めて導入していますが、今回第二弾として料理コンクールを開催しました。

このコンクールは、地場産品を利用し、地産地消や地場産品への愛着、啓蒙活動も狙っていました。

料理コンテストの出品作品は、全て一般公募で、レシビで第一次書類審査を行いました。六十七件の応募から十件を実際調理してもらい審査しました。

午前九時三十分から調理が開始されると十組の参加者は、手際よく料理を作り始めました。自分の考案した料理だけに味はもちろん、見た目にも美しく、ていねいに盛り付けを行いました。

試食では、どの料理も工夫をこらした料理だけあり、調理課程から地場産品の使用方を審査していた審査員も苦労しながらの審査でした。

西郷村長賞には、吉田美智恵さん・育未さん親子の野菜七品を使ったあんかけ「西郷食べてがんばり七菜」が選ばれました。

なお、優秀な作品は、西郷村の学校給食に採用されることとなります。

賞	入賞者（敬称略）	料理名
西郷村長賞	吉田美智恵・育未	西郷食べてがんばり七菜
村教育委員会教育長賞	独古政江	高原野菜の白玉膳
県南農林事務所長賞	澤井美和	そばサラダ
学校給食センター所長賞	独古政江	じゃがいもの揚げだし豆腐
学校給食センター所長賞	高橋愛美・幸子	じゃがいもピザ
西郷村健康推進課長賞	武田典子	豆腐たっぷり千草揚げ
西郷村健康推進課長賞	野村久美子	炒めなます
村食育推進委員会地域啓発委員賞	小林直美・萌里	じゃがおやき三種
村食育推進委員会地域啓発委員賞	深谷優子	ジャガジャガタルト
村食育推進委員会地域啓発委員賞	藤田節夫	おから野菜ふんわり揚げ



▲参加者のみなさん入賞おめでとう

ボランティアセンターに登録してみませんか？

村社会福祉協議会には、「ボランティア活動をしてみたい」「ボランティアの援助がほしい」「活動する上で困っていることがある」方のための総合窓口としてボランティアセンターがあります。

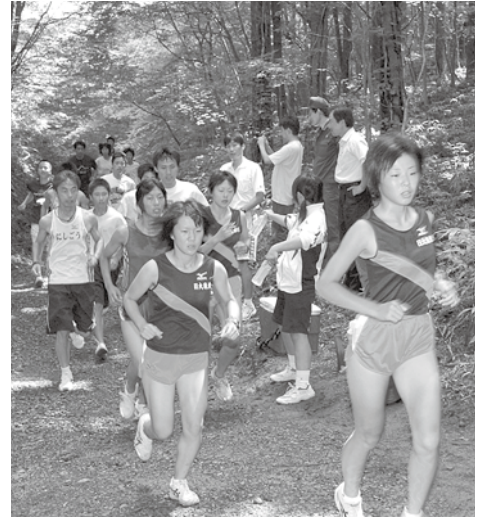
このセンターに登録するとあなたの特技ややってみたいボランティア情報などを知ることが出来ます。

また、センターでは、皆さんが安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」の加入を行っています。ボランティアセンターに登録している方であれば、どなたでも掛金（年間）五百円で加入することが出来ます。（個人負担は、百円）興味のある方は、是非登録してください。

■問合せ

村社会福祉協議会
ボランティアセンター
☎ 25-5454
✉ vnishigo-shakyo@vesta.ocn.ne.jp

森林のなかをジョギングしてみませんか



トレーニングコース開始式

村内の甲子高原にクロスカントリー感覚のトレーニングコース「甲子高原きびたきの森トレーニングコース」の完成が、八月九日に国道二八九号沿いのコース入口で佐藤村長ら関係者が出席し、テープカットを行い開始を祝いました。

甲子地区は、四、五年前から高地トレーニングとして大学、高校の陸上部長距離チームなどが合宿に訪れ国道二八九号線を利用してトレーニングを行っていました。

村では、温泉もあり関東圏からも近く東北新幹線や、東北自動車道の交通の便が良いことから合宿地としてアピールするために遊歩道の一部整備してトレーニングコースを完成させました。

このコースは、ブナとカラマツの森林の中標高八百メートルの所にあり、約二・二キロの周回コースで、幅は一・五メートルあり、起伏の激しい所には、階段を設けるなどトレーニング以外に森林浴やバードウォッチング等にも利用できるようなっています。

皆さんもぜひ、緑に囲まれた森のなかを歩いてみませんか。



村内を

こんなバスも走っています！



これまで村内を走っていた生活路線バスは、お馴染みの福島交通の赤と白のバスですが、この度写真のような「ノンステップバス」(低床バス)も一部走るようになりました。クリーム色と緑のラインが入ったデザインのバスです。

このノンステップバスは、従来のバスに比べ、小型で出入り口のステップ(段差)が低く、お年寄りや体の不自由な方も乗降しやすくなっており、車イスも乗車可能です。

お間違いないようご利用ください。

☆「満百歳」賀寿を祝う



▲佐藤村長から記念品の贈呈

七月二十八日に、満百歳を迎えた西郷村羽太字甲塚五、伊東サヨさんへ知事賀寿贈呈式が、自宅で行われました。遠藤幸男県南保健福祉事務所所長が知事賀寿と会津漆器の木杯、色紙を手渡し、西郷村、西郷村社会福祉協議会、県老人クラブ連合会から祝い金や記念品が贈られました。また、孫やひ孫さんたちから花束などを手渡され満百歳を祝いました。

長生きの秘けつは、「家族と同じ食事を毎日三食取っていること」で、うなぎと野菜ジュース、牛乳が大好きな元気なおばあちゃんです。

音声案内装置が新白河駅へ ラジオ福島ミュージック チャリティー基金

県内で十一番目の設置

新白河駅に、ラジオ福島の「通りゃんせ基金」キャンペーンの募金で購入した視覚障害者用音声案内装置の寄贈式が、八月一日、駅東口で行われました。ラジオ福島の花角慎一社長が佐藤村長に目録を手渡し、関係者が除幕を行い設置を祝いました。

この音声案内装置は、人が近づくとセンサーが反応し、バス乗り場やタクシー乗り場までの距離や方向を音声で知らせます。

また、この装置の電源は、ソーラーパネルの太陽発電と風車によ

る風力発電で電気をバッテリーに蓄える自然に優しいシステムになっています。

「通りゃんせ基金」キャンペーンはラジオ福島が昨年十一月から今年一月末まで三ヶ月間展開し、千八万八千五百八十五円の善意が寄せられました。



▲佐藤村長、新白河駅長他による除幕式の様子

「第23回村民水泳大会」が村民プールで行われました。

参加者は、小学生から一般まで、127名が参加し、4種目2リレーを部門別に競いました。

大会では、応援する友達や保護者の声援を受けながら、懸命の泳ぎを披露し、中体連の東北大会やジュニアオリンピックに出場する選手などが参加したためハイレベルな大会となり13もの大会新記録を樹立しました。

新記録がつぎつぎと

7/31



7/30

こねてのばして石窯ピッツァ

西郷村青少年交流推進実行委員会では、那須甲子少年自然の家にて自然観察会と石窯でピッツァ焼き体験が行われました。

参加者約30名は、4人の森の案内人たちの案内のもとグループに分かれて自然の家の周辺の昆虫や樹木を2時間かけて観察を行った後、自分たちでピッツァ生地からつくり、石窯で焼くとチーズの香ばしいにおいが立ち上がり出来たてのピッツァをみんなでいただきました。

お盆などで郷土に帰省するドライバーに交通事故防止を訴えようと白河検問所で「目の覚める運動」を展開しました。

各交通安全活動団体から約40名が参加し、梅干しやミニだるまを配布し、無事に目的地に到着できるよう交通安全を呼びかけました。

梅干しで居眠り防止

8/11



8/6

いい人見つかった？

8市町村合同で行う独身者に出会いの場を提供して地域活性化につなげようと男女の出会い交流イベント「出会い&ふれあいの会」が村内のグランディ那須白河ゴルフクラブで開催されました。参加者120名はグループに分かれて自己紹介をした後、ケーキやコーヒーを楽しみながらフリートークやクイズなどを通しお互いの交流を深め会場は盛り上がりしました。10月には、野外バーベキューも予定されています。

村内の保育園や幼稚園では、夕涼み会が行われました。きれいな浴衣に着替えた園児たちは、かき氷、わたあめなどを食べたり、金魚すくいや的あてを行い、夏の夜を楽しみました。



浴衣にわたあめ・花火大会



緑の大地、西の郷

福島県緑の少年団活動実績発表大会受賞少年団の表彰式が、ふくしま県民の森で行われました。

県内では、緑の少年団が115団あり、その中の28団が表彰され、日ごろのビオトープや緑化活動状況について発表した米小学校緑の少年団が優秀賞（県緑化推進委員会理事長賞）を見事受賞しました。



7/28



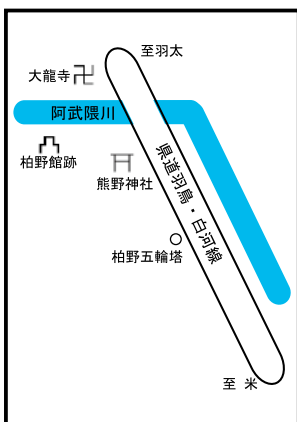
▲和知近江夫妻の墓と言われる五輪塔



▲森の中にたたずむ熊野神社

第12回 「熊野神社」 (柏野)

にしごうの神社



羽鳥街道を白河方面から羽太へ向かう途中、羽太橋の手前左側の丘陵に熊野神社があります。寛保二年（一七四二）の「白河郡米村柏野村指出帳」に「熊野権現宮」とあり、延享三年（一七四六）の「差上申由緒書之事」には「熊野権現之宮」は柏野村が開村して以来の鎮守とあります。文化元年（一八〇四）の「柏野村由緒」や同二年の『白河風土記』では、柏野村、上柏野村の鎮守として「熊野権現社」の名が見え、柏野村の開村時期を、白河を結城氏が支配していた頃、その家臣である和知近江という人が大林下または大麓という所に住んだのが初めと書かれてれています。

柏野の地名が文献に確認できる文禄三年（一五九四）の「蒲生領高目録」に「柏野 百廿石」とあり、この時には既に柏野村が存在していたこととなります。

また、嘉永三年（一八五〇）の古文書では、和知近江守頼勝という人が、柏野館に住み、近江守の時代に結城家が没落したため、郷士となり、元和（一六一五～一六二四）の頃に柏野村の庄屋になったとあります。結城家は、天正十八年（一五九〇）豊臣秀吉によって改易となっています。この和知近江守頼勝と『白河風土記』にみえる和知近江は別人と考えられ、下総国（茨城県結城市）の結城氏が白河に移り住み、葉（羽）太や釣尾（鶴生）の地名が記される文保二年（一三二八）の「関東下知状」以後には柏野村が開村され、その時に熊野神社も創建したのではないかと考えられます。柏野にはこの他に和知近江夫妻の墓と伝えられる五輪塔や和知近江が住んだとされる柏野館跡があります。

環境揭示季

「粗大ごみの処理方法について」

◎自己搬入

※役場での手続きは不要です。直接搬入してください。
可燃性粗大ごみの場合は、西白河地方クリーンセンターへ、不燃性粗大ごみは、西白河地方リサイクルプラザへ、どちらも同じ場所にあります。

搬入時間 平日 午前9時～12時 午後1時～4時
土曜日午前9時～12時※祝祭日を除く

料金 搬入されたごみの重量により
可燃性粗大ごみは10kg当たり、家庭系80円・事業系95円
不燃性粗大ごみは10kg当たり、家庭系90円・事業系110円

※廃家電品（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン）を搬入する場合は、別途、郵便局でのリサイクル料金の納入が必要です。



ウォーキングの日を記念して

前回、健康ウォーキング制定の日を毎月第三日曜日とし、普及活動を開始する記事をご紹介します。

今回は、九月十八日（日）の第一回目についてご説明します。

第一回目のメインコースは、三コースを選定しています。

- 一、家畜改良センターコース
センター内野球場集合
- 二、下羽太コース
下羽太集落センター集合
- 三、下折口原コース
下折口原公民館集合

この三カ所では村ウォーキング

西郷村シンボルスポート

健康ウォーキング

シリーズ⑤—

「健康ウォーキングの日」

制定イベント

村では、健康ウォーキングを通して運動の日常化と健康保持・増進を図り、全村民に広めるために「健康ウォーキングの日」制定を記念して九月十八日にウォーキングイベントを開催します。この機会にぜひみんなで歩いてみませんか。

ング推進員を派遣し、準備体操や歩き方等ご指導いただきます。

また、家畜改良センターコースでは、開始式を開催いたしますので、ご参加ください。なお、全戸配布済みであります、健康ウォーキング各行政区推奨コースも利用可能です。推奨コースのご提案が無い行政区の方は、近隣のコースを歩いてください。

ウォーキングカードの配布

「ウォーキングの日」の制定を記念して村では、健康ウォーキングカードを作成しました。

このカードには、毎月第三日曜日に各推奨コースを歩いて、各自で記入していただきます。一年間続けて毎月第三日曜日に歩いた方や推奨コース全四十コースを踏破した方々に記念品を贈呈する予定です。

カードは、各行政区長さん及び生涯学習課、健康推進課で配布しておりますのでお気軽におたずねください。

■お問い合わせ

生涯学習課・健康推進課

"夏休み"親子で挑戦!!

～フランスの家庭料理～

「夏休み親子クッキング教室」が、八月二日（火）文化センター調理室で行われ、夏休みの楽しい思い出に十二組の親子が参加しました。この日のメニューは、子供たちが大好きなチョコチップクッキーと、とうもろこしを炒めて炊き込んだご飯、絞ったキウイに漬け込んで焼いた豚肉とジャガイモの冷たいスープの計四品。

参加した子供たちは昨年度も講師をしていただいた諸橋純子先生（白河市在住）の指導のもと、お母さんと一緒に、皮をむいたり炒めたりと楽しく実習していました。『お母さん、家でもこれ作ってみようよ!』とできあがったものをおいしうに食べていました。



information

お知らせと情報

各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	下水道課	25-2912
住民生活課(住民生活安全)	25-1114 25-2197	会計室	25-2934
行政サービスセンター	31-2237	議会事務局	25-2980
健康推進課(保健・国保)	25-1115	農業委員会事務局	25-2946
(地域福祉・高齢者福祉・介護保険)	25-3910	西郷村土地改良区	25-1116
学校給食センター	25-1256	学校教育課	25-2370
在宅介護支援センター	25-5121	生涯学習課	25-2371
商工観光課	25-2910	水道事業所	25-2962
農政課	25-1116		
建設課	25-1117 25-1118	代 表	25-1111

●歯科医 休日当番日

9.4	クリニックおおまち	(白河市) ☎ 23-1110
9.11	芳賀医院歯科室	(西郷村) ☎ 25-2862
9.18	早坂歯科医院	(白河市) ☎ 24-6480
9.19	はやし歯科医院	(白河市) ☎ 24-1818
9.23	古市歯科クリニック	(中島村) ☎ 52-2894
9.25	ほずみ歯科医院	(白河市) ☎ 22-7211

●小児科医 休日当番日(白河地区)

9.4	樋口小児クリニック	(矢吹町) ☎ 42-2040
9.11	みうら小児クリニック	(白河市) ☎ 28-1001
9.18	わたなべ子どもクリニック	(白河市) ☎ 21-2166
9.19	岡区小児科内科医院	(白河市) ☎ 23-7811
9.23	おかざきクリニック	(白河市) ☎ 23-2551
9.25	関 医 院	(白河市) ☎ 23-3003

●内科医 休日当番日(白河地区)

9.4	大高整形外科	(白河市) ☎ 23-9988
9.11	大高内科胃腸科	(白河市) ☎ 24-1456
9.18	片倉クリニック	(白河市) ☎ 27-2770
9.19	かねこクリニック	(西郷村) ☎ 24-3111
9.23	くにい増見クリニック	(大信村) ☎ 46-2258
9.25	クリニックおおまち	(白河市) ☎ 23-1110

※電話案内 しらかわ救急情報センター ☎ 23-9909
(看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介や場所の案内をします。)

●今月の納税

国民健康保険税(3期)
介護保険料(3期)
9月30日(金)までにお納めください。
※納税は便利な口座振替で

お知らせ

検察審査員の選任について

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあったのに、検察官がその事件を裁判にかけてくれない(不起訴処分)。

このように不満をお持ちの方のために検察審査会があります。

検察審査会では十一人の審査員が審査をします。審査員は、選挙権を持っている皆さんの中から「くじ」

で選ばれることになっています。あなたもいつか審査員に選ばれることがあるかもしれません。審査員等を選ばれたときには、代表としてこの仕事にご協力をお願いします。

■問合せ 郡山検察審査会事務局
☎ 024-932-5656

第56回全国労働衛生週間

10月1日から10月7日は全国労働衛生週間です。石綿による肺がん、中皮種は近年増加しており、また仕

事や職場生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者の割合は6割を超え、これらにより精神障害を発症する事案は年々増加しております。事業場における労働衛生意識の高揚及び自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図りましょう。

■問合せ 福島労働局総合労働相談コーナー
☎ 024-536-4600
郡山総合労働相談コーナー
☎ 024-922-1370

精神障がい者家族相談員
心の病をお持ちの方やそのご家族の方々に相談を受けております。お気軽にご相談ください。
〈西白河方部相談員〉
・窓口 なごみの会事務局
☎ 24-1386

・白河 戸口慶三郎
☎ 22-6847
・西郷 栗原 憲
☎ 25-1832
・矢吹 濱 けいこ
☎ 44-5936

●相談時間 8時～18時
※秘密は守られます。

■問合せ なごみの会事務局

☎ 24-1386(なごみの家内)

グリーン購入推進キャンペーン

環境にやさしい商品を優先的に購入する「グリーン購入」は、資源を大切に使う社会(循環型社会)を形成するための有効な方法です。県

では10月を「グリーン購入推進月間」と定め、市町村等との共催の下、推進キャンペーンを展開します。キャンペーンに協力いただく参加店には、参加を示すポスターが掲示されておりますので、村民の皆様はできるだけ環境にやさしい商品を購入されますようご協力をお願いします。

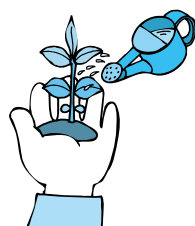
なお、キャンペーンの概要や参加店については県のホームページをご

覧ください。

●期間 10月1日～10月31日

■問合せ

福島県循環型社会推進グループ
☎ 024-521-7813
県南地方振興局県民環境部



=平成17年度住民税改正に伴うお知らせ=

(1) 税負担の公平の観点から、個人住民税均等割の納税義務を負う夫と生計同一の妻で、夫と同じ村内に住所を有する者に対する均等割の非課税措置が廃止されました。

生計同一の配偶者に対する均等割の非課税措置を平成17年度から段階的に廃止し、所得金額が一定金額(例…妻でパート収入93万円)を超える者に均等割が課税されます。

(平成17年度は2分の1の額で課税し、平成18年度からは、全額で課税されます。)

平成17年度は2,000円、平成18年度からは、4,000円の新たな均等割の負担が生じます。

所得割については、パートの年収が100万円以下だと、給与所得の金額が所得割の非課税限度額(35万円)以下になりますので、従来どおりかかりません。

(2) 配偶者の年間所得金額が33万円未満の場合に適用されていた「特別控除の上乗せ」が廃止されました。

配偶者が専業主婦などの場合で「配偶者控除」の対象になっている場合には、上乗せとして最高33万円の「配偶者特別控除」が適用されていましたが、平成17年度課税より廃止されました。

(3) 長期譲渡所得及び短期譲渡所得の改正

(平成16年度まで)			(平成17年度より)		
長期譲渡所得	所得税 20%	住民税 6%	⇒	所得税 15%	住民税 5%
短期譲渡所得	所得税 40%	住民税 12%		所得税 30%	住民税 9%

(4) 平成17年度課税より、長期譲渡所得の100万円の特別控除は廃止されました。

(5) 平成18年度より、定率減税・老年者控除(65歳以上の者で前年所得合計が125万円以下の場合、平成18年度分は3分の1(16万円)、平成19年度分は3分の2(32万円)、平成20年度分(48万円)は全額)は段階的に廃止されます。

(6) 所得税・住民税の減税措置は下図のとおりになります。

平成17年度	⇒	平成18年度	⇒	平成19年度以降
住民税 15% (上限4万円)		住民税 7.5% (上限2万円)		住民税
所得税 20% (上限25万円)		所得税 10% (上限12.5万円)		所得税
				減免措置廃止

なお、改正により介護保険・村営住宅使用料・保育料等の負担増となる場合もあります。

■問合せ 税務課課課係

協議者住所	宮城県仙台市青葉区大町2丁目15番28号	福島県西白河郡西郷村大字鶴生字萱窪2番地1
協議者名称等	東北ポール株式会社 取締役社長 青木康芳	有限会社白河高原農場 代表取締役 正垣武志
設置等予定地区	福島県白河市和尚壇9番12 外31筆	福島県西白河郡西郷村大字鶴生字萱窪2番39
産業廃棄物処理施設等の種類、処理能力、基数	廃プラスチック類の破砕施設 2.4 t/日(8時間)×2基	産業廃棄物の堆肥化施設 17.6 t/日(24時間)×1基
■問合せ	県南地方振興局 環境グループ ☎ 23-1420又は、住民生活課 生活安全係	

福島県産業廃棄物処理指導要綱の規定に基づく事業計画書が県に提出されましたので、次のとおりお知らせします。

産業廃棄物中間処理施設設置計画

動物愛護フェスティバル開催

広く県民の間に動物の愛護と適切な飼養について関心と理解を深め、動物愛護精神の高揚を目的として平成17年度動物愛護フェスティバルを開催します。

●日時 9月25日(日) 13時～15時30分

●場所 白河関の森公園

●内容 動物愛護児童画展、動物愛護児童画コンクール表彰式、飼犬のしつけ方教室(デモンストレーション)、福島県獣医師会コーナー、盲導犬の紹介、警察犬の紹介、動物愛護ボランティアの会

■問合せ 住民生活課生活安全係

相談

中小企業労働施策アドバイザー派遣事業

企業における高齢者やパートタイム労働者の雇用や就業規則の作製等の労務管理について、社会保険労務士をアドバイザーとして派遣し無料で相談をお受けいたします。

■問合せ・申込み

福島県商工労働部労働領域労政

ループ

☎ 024-521-7297

職場でのトラブル解決

解雇、労働条件、募集・採用、男女均等取扱い、セクシュアルハラスメントなど労働問題に関するあらゆる分野について、解決に向け無料でお手伝いたします。職場でのトラブルにお悩みの方はお気軽にお問い合わせ下さい。

■問合せ

福島労働局総合労働相談コーナー

☎ 024-536-4600

郡山総合労働相談コーナー

☎ 024-922-1370

法務なんでも無料相談所

●日時 9月4日(日) 10時～16時

●場所 白河市郭内1-136

福島地方法務局白河支部

●電話相談

☎ 024-534-2021

☎ 024-536-1155

☎ 024-536-1174

■問合せ

福島県地方務局白河支局

☎ 0248-22-1201

募集

「出逢いたい・ふれあいたい・結ばれたい」
「出逢い＆ふれあい会」参加者募集

先日開催されたステップ1「出逢い」に続き、ステップ2「ふれあい」を開催しますので、ぜひご参加ください。

●日時 10月16日(日)

11時30分 新白河駅集合

●場所 レジーナの森

●対象者 白河市・西白河郡内に居住する独身男女。女性については他地域からの参加も可。

●募集人数 男女各60名(先着順)

●参加費 男性3,000円

女性1,000円

●募集期限 9月30日(金)

■問合せ・申込み 「ふれあいの場」

創出事業実行委員会事務局

表郷村役場 企画調整課

☎ 32-4781

または、西郷村役場 企画調整課



平成17年度自衛官募集

募集種目		採用予定数	受付期間	試験日 (1次試験)	受験資格
一般曹候補学生	推薦	人文 20 理工 80	9/5(月)～7(木)	9/24(土) 25(日)	高卒(見込含) 21歳未満
	一般	人文 65 理工 295		11/12(土) 13(日)	
防衛医科大学校学生		70	9/9(金)～ 30(金)	11/5(土) 6(日)	高卒(見込含) 24歳未満
看護学生		陸 70		10/16(日)	

■問合せ 住民生活課または、福島地方連絡部白河募集事務局 ☎ 24-0371

善意

ありがとうございます。

◎西郷村に寄付された方々をご紹介します。

▼白河信用金庫

理事長 牧野富雄氏

(八月四日、白河信用金庫創立80

周年記念事業の一環として、村の

行政推進のため)

貨物兼乗用自動車

一台

行事 カレンダー

2005 年 9 月
September

●今月の顔——

木工教室（熊倉児童館）

に来ていた子どもたちです。

日	月	火	水	木	金	土
				1 高齢者の男性のための料理教室 (10:00 高齢者生活支援センター) ふるさと教室 (19:00 文化センター) 地域懇談会 (19:00 一の又多目的集会施設)	2 高齢者の男性のための料理教室 (10:00 高齢者生活支援センター) 地域教育懇談会 (19:00 川谷中学校多目的ホール)	3 健康体操教室 (10:00 文化センター) バスケットボール講習会 (13:00 村民体育館)
4 バスケットボール講習会 (9:00 村民体育館) 法務なんでも無料相談所 (10:00 福島地方務局白河支局)	5 	6 12～13ヵ月児健康相談 (9:30 保健福祉センター) 西郷村敬老会 (10:00 村民体育館)	7 寿学級 (10:00 アクティブセンター)	8 小学校交流宿泊学習 (9:00 那須甲子少年自然の家～9日) 母子手帳交付・健康相談 (13:00 保健福祉センター) ふるさと教室 (19:00 文化センター)	9 老人クラブ連合会长杯ゲートボール大会 (9:00 追原ゲートボール場) 心配ごと相談会 (13:00 高齢者生活支援センター)	10 下水道ふれあいプラザ (10:00 ヨークベニマル白河昭和町店)
11 	12 クッキング教室 (18:30 文化センター)	13 子宮ガン検診 (9:00・13:00 保健福祉センター)	14 	15 子宮ガン検診 (9:00・13:00 保健福祉センター) ふるさと教室 (19:00 文化センター)	16 老人クラブ連合会长杯グラウンドゴルフ大会 (9:00 村民野球場) 4ヵ月児健康診査 (13:00 保健福祉センター)	17 地域食育シンポジウム (13:00 文化センター)
18 サンデーカルチャー (8:00 会津若松市) まきば保育園運動会 (9:00 園庭／雨天時村民体育館)	19 敬老の日	20 	21 歯科クリニック (幼児 13:00、6才児 13:45 保健福祉センター)	22 母子手帳交付・健康相談 (13:00 保健福祉センター) ふるさと教室 (13:30 文化センター集合) 地域教育懇談会 (19:00 羽太小学校多目的ホール)	23 秋分の日 第34回村民登山大会 (6:00 文化センター集合) ふるさと探検隊 (6:00 那須甲子少年自然の家～24日)	24 村立西郷幼稚園運動会 (9:00 園庭) 健康ウォーキング教室 (9:00 保健福祉センター)
25 	26 心配ごと特別相談会 (13:10 高齢者生活支援センター) 行政相談所開設 (13:30 文化センター)	27 地域懇談会 (19:00 下羽太地区集落センター)	28 	29 健康体操教室 (14:30 保健福祉センター) ふるさと教室 (19:00 文化センター)	30 	

★県南地域の主な行事です (NPO 法人カルチャーネットワーク提供)

- ・ 9/1～25 城下町歴史散歩展（白河市歴史民俗資料館 9:00（月休））
- ・ 9/8 おひざにだっこのおはなしかい（西郷村文化センター 10:30）
- ・ 9/16～18 白河提灯まつり（鹿嶋神社・白河市街地 18:00）
- ・ 9/16～18 びゃっこい村手づくり絵本展（表郷村役場 村民ホール 9:30）
- ・ 9/17 第4回ひがし郷里マラソン（東村 21 世紀の森運動公園 9:00）
- ・ 9/22～28 西白河地区小学理科作品展（白河市文化センター 8:30）
- ・ 9/24 絵で見るお話会（大信村中山義秀記念文学館 16:00）
- ・ 9/30～10/3 白河発明展（マイタウン白河 9:00）

誌上天然色作品展

(村内の小・中学校の児童や生徒のみなさんの作品を紹介しています。)

図画

「阿武隈川源流」



川谷小学校四年
鈴木 陸



担任の田崎奈々恵先生から一言

六月にみんなで登った「雄滝・め滝」の絵をかきました。勢いよく流れている滝の迫力がこちらまで伝わってきますね。

詩

「ヒマワリと太陽」



川谷小学校六年
島田 陽子

太陽がのぼってくると、
ヒマワリも、
大きな花をさかせます。

太陽が空高くのぼると、
ヒマワリも、
負けずに、
ぐんぐんぐんぐん
のびてます。

太陽がしずむと、
ヒマワリも、
夜のねむりにつきます。

太陽とヒマワリは、とっても仲良し。

担任の佐藤 仁先生から一言

毎日の自主学習で自作の詩に数多く取り組んでいる陽子さん。日常生活から気がついたいろいろな思いを言葉にうまく表せていますね。

書

「草原」



川谷小学校五年
榎田 有里



担当の山岸 実先生から一言

「たれ」のある文字の組み立て方に特に気をつけました。「たれ」の下部分を右に少しずらし、字形を整えて書いています。